

第7回全日本モルック学生大会に関するJMA案(ヒアリング用資料)

1. 12月内の開催日

1-1.基本方針

・第7回全日本モルック学生大会は、2026年12月中の開催を予定している。日本モルック協会(以下、JMA)としては、現時点では2日間開催を検討しているが、本ヒアリングでいただいた意見や会場の確保状況等を踏まえ、1日開催の可能性や日程に関して最終決定する予定である。また、会場確保のめどが立った場合、1日目終了後の懇親会の実施を検討している。

1-2.大会当日の時間設定

- ・遠方から参加する学生の移動負担を考慮し、1日目は遅めの時間から開始する。
- ・現時点で想定している進行(案)は以下のとおり。
 - 1日目:午後から競技開始
 - 1日目競技終了後:懇親会(実施する場合)
 - 2日目:午前9時または10時頃から競技開始
 - 2日目:夕方までに大会終了
- ・1日目の開始時刻を遅くすることで、関西圏外からの参加者が当日の朝に移動できる可能性を高める。一方、2日目は朝から開始し、参加者が1日を通してモルックを楽しめる大会とする。
- ・1日のみの開催となった場合、競技開始午前9時・競技終了午後5時を目安にレギュレーションを作成する。

1-3. 開催日の告知

・参加者が交通手段や宿泊施設を早期に確保できるよう、会場確保等の状況を踏まえ、2026年9月中を目途に開催日・会場を正式に公表することを目指す。特に遠方参加者にとっては宿泊費や交通費の負担が大きいため、できる限り早い段階で必要な情報を提示する。

2. 競技方式およびチーム編成

2-1.参加対象者

・参加対象者は、モルックの経験の有無は問わず、以下の対象となる教育機関に在籍する学生であれば参加できるものとする。

- 専門学校生
- 短期大学生
- 大学生
- 大学院生

2-2.チーム編成

・1チームの人数は、3名または4名とする。また、複数の学校に所属する学生による合同チームでの参加を認める。複数校合同チームを認める理由は、以下のとおりである。

- 同じ学校内で人数を集められない学生にも参加機会を設ける
- 学校の枠を超えた学生同士の交流を促進する
- 個人や少人数で活動している学生が参加しやすい大会にする
- 地域や所属団体を越えたチーム編成を可能にする

2-3.大会全体の競技方式

・基本的な競技方式は、

予選リーグ→(2次予選)→上位/中位/下位トーナメントを組み合わせた形式とする。

大会の流れは、以下を想定している。

1日目

- 交流を兼ねた予選リーグを実施
- チーム数・レギュレーションによっては2次予選も実施
- 予選結果を基に、2日目の組み合わせを決定

2日目

予選結果に応じて、参加チームを複数のカテゴリーに分ける。

- 上位チーム:優勝を争うトーナメント
- 中位・下位チーム:順位別トーナメントや交流を重視した競技

・上位チームについては、学生日本一を決定する大会として、競技性の高い形式とする。一方、中位・下位チームについては、単に敗退して大会が終了するのではなく、試合数や交流機会を確保できる形式とする。

・1日開催の場合もこのレギュレーションに準ずることとする。

2-4.大会設計における考え方

・2日間開催であることを踏まえ、原則として全チームが2日目にも競技できるスケジュールを作成する。1日目の予選結果のみで大会参加が終了する形式にはせず、2日目もすべての参加者がモルックを楽しめる大会とする。特に2日目は、丸1日モルックができる程度の試合数を確保することを目指す。

・レギュレーションは、分かりやすく、公平で、競技を楽しみやすい内容とする。

【競技方式】

・上位トーナメント(優勝者が学生日本一):競技性を重視し、原則として「2チーム対戦(2セットまたは3セット先取)」を採用する。

※100点ゲームや3チーム対戦は採用しない。

・中位・下位トーナメント: より多くの試合と交流を楽しめるよう、「3チーム対戦」なども採用する。

3. 募集チーム数およびエントリー方法・期間

3-1.募集チーム数

・募集チーム数は、100チーム程度を想定する。

3-2.エントリー方法

・大会へのエントリーは、LivePocketを利用する方向とする。

3-3. エントリー期間

・エントリーに関するスケジュールは、以下のような形を想定する。

- 2026年9月中を目安に大会要項の公開を予定している。
- 2026年10月中旬頃を目安にエントリー開始を予定している。
- 2026年11月上旬頃を目安にエントリー締切を予定している。

・大会約2か月前にエントリーを開始し、参加者が大会内容を確認したうえで、交通手段や宿泊施設を手配できるようにする。

3-4.エントリー時の提出物およびチーム紹介

・エントリー時には、参加申込に必要な基本情報に加え、JMA学生連盟部 公式SNS等で参加チームを紹介するため、以下の情報の提出を求める。

- チーム名
- チーム画像
- チーム紹介文
- 所属学校
- 複数校合同チームの場合は各メンバーの所属学校
- 代表者の連絡先

・提出されたチーム画像およびチーム紹介文は、JMA学生連盟部 公式SNSで順次掲載し、大会開催前から参加チームの紹介を行う。チーム画像および紹介文の提出時には、公序良俗に反しない内容であることへの同意を求める。また、チーム画像および紹介文を提出する場合は、JMA学生連盟部 公式SNS等への掲載について同意したものとみなす。画像に人物が写っている場合は、写っている全員から掲載について了承を得たうえで提出するものとする。未成年者が含まれる場合は、必要に応じて保護者等の同意を得るものとする。

チーム紹介を行う目的は、以下のとおりである。

- 大会への関心を高める
- 出場チーム同士の交流を促進する
- 学生モルックの認知拡大につなげる
- 大会前から参加者同士がつながれる環境をつくる

また、紹介文やデザインが特に優れているチームについては、粗品を贈呈することも検討する。

3-5.参加者への連絡手段

・大会参加者への連絡手段として、オープンチャットを作成する。主な用途は以下。

- 大会情報の共有
- レギュレーションの送付
- 組み合わせの共有
- 荒天時の連絡
- 当日の案内
- 忘れ物や緊急連絡
- 懇親会情報の共有

・個人情報の保護に配慮し、参加者同士が個人情報を不用意に共有しない運用方法とする。

4. 参加費及び遠方から参加する場合の負担に関する事項

4-1.参加費

参加費は、1チーム4,000円程度を想定する。

4-2.懇親会費の扱い

大会参加費と懇親会費をまとめて販売する方法も検討する。

その場合は前述した料金より増加する点に留意が必要。

ただし、懇親会に参加できない学生もいることを想定し、以下の販売方法を比較する。

案1:大会参加費に懇親会費を含める

メリット

- 申込方法が分かりやすい
- 懇親会への参加を促進できる
- 参加人数を早期に把握できる

デメリット

- 懇親会に参加しない人にも費用負担が発生する
- 1日目のみ、または2日目のみの参加者への対応が難しい

案2:大会参加費と懇親会費を分ける

メリット

- 参加者が必要なものだけ申し込める
- 費用負担が明確になる

デメリット

- 申込管理が複雑になる
- 懇親会の参加人数確定が遅れる可能性がある

選手の負担や申込管理のしやすさを踏まえ、最終的な販売方法を決定する。

4-3. 遠方参加者への配慮

・全国から学生が参加する大会であることから、関西圏外の参加者は参加費に加え、交通費や宿泊費、飲食費などの負担が生じることが想定される。そのため、JMAでは遠方参加者の負担軽減を目的として、1日目の開始時刻を遅めに設定するとともに、開催日や会場、エントリー情報を大会約2か月前までに公開し、参加者が交通手段や宿泊施設を早期に手配できるよう配慮する。また、参加者への交通・宿泊に関する情報提供や、遠方参加者への支援策についても、予算や協賛状況を踏まえながら検討を進める。

4-4. 宿泊・交通情報の提供

・大会参加者が安心して参加できるよう、会場周辺の宿泊施設や最寄り駅からのアクセス方法、主要駅からの移動経路など、参加に必要な交通・宿泊情報を会場決定後、JMA公式ウェブサイトや学生連盟部 公式SNS等で案内する予定である。あわせて、ゲストハウスやホステルなど比較的安価な宿泊施設や、夜行バス・学割など交通費を抑えられる手段についても情報提供を行い、遠方からの参加を後押ししたいと考えている。

4-5. 参加賞および入賞景品

・参加者の満足度向上を目的として、参加賞を用意するとともに、入賞チームには学生大会優勝者限定Tシャツや刻印入りモルック棒、モルックセット、小型トロフィー、表彰状などの景品を贈呈することを検討する。景品の内容については、協賛企業からの提供品も含め、予算や協賛状況を踏まえて決定する。

5. 会場に求める条件

5-1.開催地域

・開催地域は関西地域、特に大阪府内を基本とする。なお、開催日については、会場の確保状況・参加者の都合等も踏まえながら最終決定する予定である。全国から学生が参加する大会であることを踏まえ、会場選定にあたっては関西地域だけでなく、他地域からのアクセスのしやすさも重視する。

5-2.競技面の条件

・競技会場は、モルック競技に適した砂またはクレーコートを基本とする。また、100チーム規模の大会を円滑に運営できる会場であることを前提とし、以下の条件を重視する。

- 100チーム規模に対応できる広さ
- 十分な数の競技コートを設置できること
- 2日間連続で利用できること
- 会場の状態が競技に適していること
- JMA公式大会または大規模大会の開催実績があること

5-3.アクセス面の条件

・遠方から参加する学生の負担を軽減するため、アクセスの良さを重要な選定基準とする。具体的には、最寄り駅からの距離や主要駅・空港からのアクセス、荷物を持った状態でも移動しやすい動線であるかを確認する。また、公共交通機関だけでの来場が難しい場合には、会場が決定し次第、シャトルバスや送迎を必要に応じて検討する。

5-4.荒天時の対応および大会の雰囲気

・屋外開催を基本として検討しているが、会場条件等を踏まえ最終決定する。また、雨天・荒天時の対応については、開催・中止の判断基準や参加者への連絡方法などを事前に整理する。必要に応じて、代替会場や予備日の設定についても検討する。さらに12月開催であることを踏まえ、防寒対策や休憩スペースの確保など、参加者が安全に競技できる環境整備についても検討する。

6. その他、大会運営に関する考え方

6-1.大会全体のコンセプト

・本大会は、学生日本一を決定する競技大会であると同時に、全国の学生モルックプレイヤーが交流できる場を目指す。大会運営にあたっては、「選手ファースト」を基本理念とし、初心者から上級者まで幅広い学生が楽しめる環境を整える。また、学校や地域を超えた交流を促進するとともに、学生モルックの認知拡大や、お祭りのような一体感のある大会づくりを目指す。

6-2.大会スケジュール(予定)

・大会開催までのスケジュールは、現時点では以下を予定している。なお、各時期や実施内容については、今後の検討状況に応じて変更となる可能性がある。

時期	実施内容(予定)
8月	大会草案の公開、オンラインMTGの開催
9月	大会告知第1弾の公開、ポスターデザイン公募開始
10月	大会告知第2弾の公開、エントリー開始
11月	エントリー締切、組み合わせ抽選
12月	第7回全日本モルック学生大会開催

6-3.広報・告知方針

・広報は、「ポスター制作」「参加チーム紹介」「大会告知・エントリー」の3つを柱として展開する。9月には大会告知第1弾として、開催日・会場・参加対象・大会コンセプトなど大会要項を公表するとともに、ポスターデザインの公募を開始する。ポスター公募開始までに必要な掲載情報を整理し、一定期間募集を行ったうえで、応募がない場合は外注またはJMA内部で制作を行う。10月には大会告知第2弾として、募集チーム数や参加費、エントリー方法、暫定レギュレーションなど、参加に必要な詳細情報を公開する。また、JMA学生連盟部 公式SNSではエントリー時に収集したチーム紹介を計画的に発信し、大会前から参加者同士の交流を促進するとともに、学生モルックの認知拡大につなげる。

6-4.懇親会

・大会が2日間開催になった場合、大会1日目終了後に懇親会の実施を検討している。懇親会では、学校や地域を超えた交流を促進するとともに、チーム紹介やミニゲーム、協賛企業の紹介などを通じて大会をより楽しめる場とする。また、紹介内容やデザインが優れていたチームへの表彰や粗品の贈呈も検討する。実施にあたっては、会場、飲食物、備品、スタッフ配置、参加費など、運営に必要な事項を事前に整理する。参加人数や会場確保の状況等を踏まえ、実施の可否を最終決定する。

・また、1日開催となった場合にも、懇親会の開催を検討している。